

授業科目(ナンバリング)	専門演習 I A (CF201)			担当教員	尾場 均		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
<p>社会人として必要な幅広い教養的知識を有し、デザイン力、コンピュータや放送に関わる資格取得を個別に目指す。(コンピュータ関連資格、インターネット情報士、ビジネス著作権、色彩検定など)</p> <p>佐世保市のコミュニティ FM で毎週日曜日に放送される 60 分の生番組を担当する。観光の情報発信の手段として取材や調査をして FM 放送の番組を制作し情報発信する。またコンピュータの操作スキルの向上とメディアリテラシーを身につける。昨年度は番組出演、短編映画制作、動画編集など。</p>							⑥ ⑪
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	情報機器や情報技術の出来事に常に関心を持ち、正しく理解することができる。				課題レポート (ポートフォリオ)	10%	
情報収集、分析力	発信する情報内容に責任を持ち、情報の真偽を判断することができる。				課題レポート (ポートフォリオ)	30%	
コミュニケーション力	情報に関するツールを使いこなし、プレゼンテーション力を身につけることができる。				課題提示に対する放送によるプレゼンテーション	40%	
協働・課題解決力	地域活性化とイベントに関心を持ち、専門演習での活動に積極的・意欲的に参加することができる				授業態度・活動への参加度	10%	
多様性理解力	社会人として必要な幅広い教養的知識を身につける。				文献を要約	10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>活動への積極的な参加態度、グループディスカッションでの内容、ポートフォリオ・Web による情報交換の活用度、地域連携活動、映像などの制作・ラジオ番組に必要な取材および原稿内容と発表内容を評価する。情報コンテンツの理解と開発内容、検定試験への取り組み、SNS による情報発信、地域における調査やイベントの企画・実施等のフィードバックは、ポートフォリオを通して行う</p>							
授業の概要							
<p>インターネット技術を理解しコンピュータ関連の資格取得関連はメディアルームや演習室で実施する。</p> <p>まちづくりや放送に関する演習は現地で実施し、学内スタジオや中心市街地に設けられた放送スタジオにて行う。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：なし</p> <p>参考書：</p> <p>指定図書：『伝える力』PHP 研究所</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>授業外で多くの活動を実施するが、欠席なく積極的に参加することを期待する。</p> <p>情報機器や放送機器の活用により、情報コンテンツの企画力・実践力を身につけ、まちづくりや地域振興に関係する人々と出会い、一緒に参加し専門知識や社会人基礎力を身につけることを期待する。</p> <p>※本演習を選択するものは次のコースを履修すること。</p> <p>観光マネジメント グローバルツーリズム スポーツツーリズム</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	専門演習の導入	演習の説明および授業における到達目標の決定	予：事前に研究室ホームページを参照し活動内容を理解
2	番組視察	放送現場の視察およびまちづくりに関する活動	予：活動拠点・スタジオの場所を把握する。
3	資格試験対策・面談	資格試験対策のポートフォリオ・Webの演習 個人目標設定のための面談を実施する	予：資格の調査分析
11	番組制作	番組作成のための調査・取材実践。放送原稿の作成	予：番組テーマの決定
5	活動参加	放送現場の視察およびまちづくりに関する活動	予：活動拠点をインターネットで調査
6	資格試験対策	資格取得の内容分析	予：資格の調査分析
7	プレゼンテーション	プレゼンテーション作成の基礎ソフトウェア操作の演習	予：プレゼンテーション機器の活用
8	デザインツールの活用	ソフトウェアの操作習得	予：映像関連ソフトの導入
9	デザインツールの活用	アニメーション画像技術、画像編集	予：映像関連ソフトの活用
10	デザインツールの活用	プロ志向の本格的なデザインの演習（パス・アンカー処理）	予：デザイン関連ソフト導入
11	デザインツールの活用	プロ志向の本格的なデザインの演習（レイヤー・グラデーション処理）	予：デザイン関連ソフト活用
12	番組制作	番組作成のための調査・取材実践。放送原稿の作成	予：番組テーマの決定
13	情報発信	コンテンツ作成と管理、番組出演、まちづくりに関する活動	予：作成原稿の確認と読み合わせ
14	番組制作	番組作成のための調査・取材実践。放送原稿の作成	予：コンピュータを使い作成する
15	情報発信	番組出演、まちづくりに関する活動	予：番組テーマを決定して作成原稿の確認

授業科目(ナンバリング)	専門演習 I B (CF202)			担当教員	尾場 均		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
放送用プロ機材を使った映像作成と FM 放送の実践をおこない、番組を制作、放送でメディアリテラシーを学ぶ。資格取得を目指す。(コンピュータ関連・色彩検定・ビジネス著作権・インターネット情報士など) 国際観光学科で学んだ観光に関する知識を活かし実践的な情報発信の能力と情報における判断能力を身につける。佐世保市中心市街地および佐世保市のまちづくりに関する調査活動や IT 関連の教育活動などを実践する。昨年度は FM 放送の番組に加え、渋谷・佐世保短編映画祭の実践や地域活性化イベントを実施した。							⑥ ⑪
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	情報機器や情報技術の出来事に常に関心を持ち、正しく理解することができる。				課題レポート (ポートフォリオ)	10%	
情報収集、分析力	発信する情報内容に責任を持ち、情報の真偽を判断することができる。				課題レポート (ポートフォリオ)	30%	
コミュニケーション力	情報に関するツールを使いこなし、プレゼンテーション力を身につけることができる。				課題提示に対する放送によるプレゼンテーション	40%	
協働・課題解決力	地域活性化とイベントに関心を持ち、専門演習での活動に積極的に・意欲的に参加することができる				授業態度・活動への参加度	10%	
多様性理解力	社会人として必要な幅広い教養的知識を身につける。				文献を要約	10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
活動への積極的な参加態度、グループディスカッションでの内容、ポートフォリオ・Web による情報交換の活用度、地域連携活動、映像などの制作・ラジオ番組に必要な取材および原稿内容と発表内容を評価する。情報コンテンツの理解と開発内容、検定試験への取り組み、SNS による情報発信、地域における調査やイベントの企画・実施等のフィードバックは、ポートフォリオを通して行う							
授業の概要							
インターネット等の新しい技術を使って観光情報について実践で学ぶため、必ず個人の情報機器を使用する。企画やディスカッション、プログラム開発は演習室にて自分の情報機器でおこなう。まちづくりや放送に関する演習は中心市街地に設けられた放送スタジオ、および現地にて実施する。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分とする。							
教科書・参考書							
教科書：なし 参考書：なし 指定図書：『伝える力 2』PHP ビジネス新書							
授業外における学修及び学生に期待すること							
授業外で多くの活動を実施するが、欠席なく積極的に参加することを期待する。情報機器や放送機器の活用により、情報コンテンツの企画力・実践力を身につけ、まちづくりや地域振興に関係する人々と出会い、一緒に参加し専門知識や社会人基礎力を身につけることを期待する。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	専門演習の導入	演習の説明および授業における到達目標の決定 検定試験への準備（内容把握）	予：事前に研究室ホームページを参照し活動内容を理解
2	番組視察	放送現場の視察およびまちづくりに関する活動	予：活動拠点・スタジオの場所を把握する。
3	ポートフォリオ・Web 登録と演習	ポートフォリオ・Web の登録と演習 個人目標設定のための面談を実施する	予：SNS の登録とメールアドレスを準備
4	インターネット基礎	インターネットの仕組み 検索術・画像・データ管理	予：通信機器を準備
5	テーマを決める	地域活性化のテーマをグループで決定して目標を明確にする。	予：地域活性化事業の事例を集めること
6	検定試験への取り組み	多種多様な検定試験へ向けての演習（実践系の資格）	予：規定様式の書式や設定を事前に確認
7	番組制作	番組作成のための調査・取材実践。放送原稿の作成	予：番組テーマの決定
8	情報発信	番組出演、まちづくりに関する活動	予：作成原稿の確認と読み合わせ
9	イベント計画	テーマに関するスケジュールの制作	予：開催日から逆算してスケジュールを決定する
10	イベント準備	イベント実行のための調査	予：開催場所の調査・確認
11	番組制作	番組作成のための調査・取材実践。放送原稿の作成	予：番組テーマの決定
12	情報発信	番組出演、まちづくりに関する活動	予：作成原稿の確認と読み合わせ
13	番組制作	番組作成のための調査・取材実践。放送原稿の作成	予：番組テーマの決定
14	情報発信	番組出演、まちづくりに関する活動	予：作成原稿の確認と読み合わせ
15	成果発表	情報発信メディア（TV、ラジオ、インターネット）を通じて成果を発表する。	予：発表準備・担当を明確にする。

授業科目(ナンバリング)	専門演習ⅡA (CF301)			担当教員	尾場 均		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	3年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
長崎県佐世保市をテーマに放送用プロ機材を使った映像作成と FM 放送の実践をおこない、番組を制作、放送でメディアリテラシーを学ぶ。関連する資格取得を目指す。 観光の情報発信の手段として調査やイベントの企画・実施等のソフト的な取り組みと、観光に関わる基礎的知識を有し、観光情報を発信する能力を取得する。まちづくりイベントを起案し実践する 前年度は番組出演、映像作成・佐世保市との協働によるイベント企画運営を実践した。							⑥ ⑪
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	伝えたい情報を適切に判断し、正しく伝達することができる。				課題提示に対する個人によるプレゼンテーション	30%	
情報収集、分析力	情報機器の操作やネット関連の技術習得、情報コンテンツの作成ができる。観光情報の発信を通じて、メディアリテラシーを理解することができる。				企画・番組内容	40%	
コミュニケーション力	情報発信とイベントに関心を持ち、専門演習での活動に意欲的に参加することができる。				授業態度・活動への参加度	20%	
協働・課題解決力	積極的に話し合いをし、自分から働きかける力を身につけることができる。				課題提示に対するチームによるプレゼンテーション	10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
活動への積極的な参加態度、グループディスカッションでの内容、ポートフォリオ・Webによる情報交換の活用度、地域連携活動、映像などの制作・ラジオ番組に必要な取材および原稿内容と発表内容を評価する。情報コンテンツの理解と開発内容、検定試験への取り組み、SNSによる情報発信、地域における調査やイベントの企画・実施等のフィードバックは、ポートフォリオを通して行う							
授業の概要							
観光情報について実践的に学ぶ。まちづくりや放送に関する演習は中心市街地に設けられた放送スタジオ、および現地にて実施する。本講義では、様々な分野の専門も関与して、受講する学生のアイデアを産業界等で実用化することやベンチャー企業を設立するなど、産学協同により大学等における学びを社会実装することを志向した授業を行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教科書・参考書							
教科書：なし 参考書：なし 指定図書：『調べる技術・書く技術』 講談社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
授業外で多くの活動を実施するが、欠席なく積極的に参加することを期待する。 情報機器や放送機器の活用により、情報コンテンツの企画力・実践力を身につけ、まちづくりや地域振興に関係する人々と出会い、一緒に参加し専門知識や社会人基礎力を身につけることを期待する。 ※本演習を選択するものは次のコースを履修すること。 観光マネジメント スポーツツーリズム グローバルツーリズム							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	専門演習の導入	演習の説明および授業における到達目標の決定 検定試験への準備（内容把握）	予：事前に研究室ホームページを参照し活動内容を理解
2	資格試験対策・面談	資格試験対策のポートフォリオ・Webの演習 個人目標設定のための面談を実施する	予：資格の調査分析
3	放送機材の活用	放送用機材を使った撮影録音操作・活用を実践する	予：映画を作るときに必要な機材を調べる
4	ポートフォリオ・Web 演習・面談	コミュニケーション用ポートフォリオ・Webの演習 個人目標設定のための面談を実施する	予：SNSの登録とメールアドレスを確認と事前準備
5	番組・映像デザイン準備	番組作成のための調査・取材実践。放送原稿の作成	予：番組テーマの決定
6	情報発信	番組出演、まちづくりに関する活動	予：作成原稿の確認と読み合わせ
7	イベント企画	イベント企画事例調査と研究 (情報コンテンツの開発を含む)	予：事例研究・分析
8	文書作成とデータ管理	文章の作成とデータベース、グラフィックスの演習	予：アプリケーションの動作確認
9	映像プレゼンテーション	ソフトウェア操作、字幕やテロップの演習	予：指定サイトの参照
10	番組制作・情報発信	番組作成のための調査・取材実践。放送原稿の作成と番組出演	予：作成原稿の確認と読み合わせ
11	SNS・Web オープンソース	SNS・Webの操作・管理、コンテンツ作成	予：指定サイトの参照
12	番組制作・情報発信	番組作成のための調査・取材実践。放送や作品の作成と番組出演	予：作成原稿の確認と読み合わせ
13	放送実施企画	放送番組や映像作品内容の確認と内容研究	予：内容の確認と発表練習等
14	事前制作発表	グループでの番組やコンテンツを企画し発表する	予：作成原稿の確認と読み合わせ。事前確認・練習
15	制作発表	具体的な番組やコンテンツを企画し発表する	予：事前確認・練習

授業科目(ナンバリング)	専門演習ⅡB (CF302)			担当教員	尾場 均		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	3年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
長崎県佐世保市をテーマに放送用プロ機材を使った映像作成と FM 放送の実践をおこない、番組を制作、放送でメディアリテラシーを学ぶ。関連する資格取得を目指す。観光の情報発信の手段として調査やイベントの企画・実施等のソフト的な取り組みと、観光に関わる基礎的知識を有し、観光情報を取材という形式で自ら調べて、放送で発信する能力を取得する。まちづくりイベントを起案し実践する前年度は映像作成・佐世保市との協働によるイベント企画運営・地域イベントの実践などをおこなう。							⑥ ⑪
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	伝えたい情報を適切に判断し、正しく伝達することができる				課題提示に対する個人によるプレゼンテーション	30%	
情報収集、分析力	情報機器の操作やネット関連の技術習得、情報コンテンツの作成ができる。観光情報の発信を通じて、メディアリテラシーを理解することができる				企画・番組内容	40%	
コミュニケーション力	情報発信とイベントに関心を持ち、専門演習での活動に意欲的に参加することができる。				授業態度・活動への参加度	20%	
協働・課題解決力	積極的に話し合いをし、自分から働きかける力を身につけることができる。				課題提示に対するチームによるプレゼンテーション	10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
活動への積極的な参加態度、グループディスカッションでの内容、ポートフォリオ・Webによる情報交換の活用度、地域連携活動、映像などの制作・ラジオ番組に必要な取材および原稿内容と発表内容を評価する。情報コンテンツの理解と開発内容、検定試験への取り組み、SNSによる情報発信、地域における調査やイベントの企画・実施等のフィードバックは、ポートフォリオを通して行う							
授業の概要							
インターネット等の新しい技術を使って観光情報について実践的に学ぶ。企画やディスカッション、プログラム開発は演習室にて自分の情報機器でおこなう。本講義では、様々な分野の専門も関与して、受講する学生のアイデアを産業界等で実用化することやベンチャー企業を設立するなど、産学協同により大学等における学びを社会実装することを志向した授業を行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教科書・参考書							
教科書：なし 参考書：なし 指定図書：『話すチカラをつくる本（知的生きかた文庫）』三笠書房							
授業外における学修及び学生に期待すること							
授業外で多くの活動を実施するが、欠席なく積極的に参加することを期待する。情報機器や放送機器の活用により、情報コンテンツの企画力・実践力を身につけ、まちづくりや地域振興に関係する人々と出会い、一緒に参加し専門知識や社会人基礎力を身につけることを期待する。 ※本演習を選択するものは次のコースを履修すること。 観光マネジメント スポーツツーリズム グローバルツーリズム							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	専門演習の導入	演習の説明および授業における到達目標の決定 検定試験への準備（内容把握）	予：事前に研究室ホームページを参照し活動内容を理解
2	資格試験対策・面談	資格試験対策のポートフォリオ・Webの演習 個人目標設定のための面談を実施する	予：資格の調査分析
3	施設拠点の活用	中心市街地のコミュニティを活用に関する計画を考える	予：コミュニティに集まる人々を分析する
4	ポートフォリオ・Web 演習・面談	コミュニケーション用ポートフォリオ・Webの演習 個人目標設定のための面談を実施する	予：SNSの登録とメールアドレスを確認と事前準備
5	イベントデザイン準備	イベント実施のための調査・取材実践。計画書の作成	予：イベントテーマの決定
6	情報発信	まちづくりに関する活動の発信を实践	予：コンテンツを選び、発信準備をする
7	イベント企画	イベント企画事例調査と研究 (情報コンテンツの開発を含む)	予：事例研究・分析
8	プレゼン作成とデータ管理	高度なツールを使った文書作成とグラフィックスの演習	予：アプリケーションの動作確認
9	プレゼンテーション	プレゼンテーションの实践と他者との評価	予：話し方・姿勢・内容を確認する
10	イベント制作・情報発信	イベント実施のための調査・取材実践。イベント企画書の作成	予：企画書の確認
11	SNS・Web オープンソース	SNS・Webの操作・管理、コンテンツ作成	予：指定サイトの参照
12	イベント企画確認	イベント企画を再確認、グループ同士で評価する	予：プレゼンデータの確認とポートフォリオへの提出
13	イベント実践準備	イベント企画の準備とタイムスケジュールの事前シミュレーションを行う	予：開始・終了、人員配置などの確認をする。
14	事前イベント企画発表	グループでの具体的なイベントを企画し発表する	予：作成原稿の確認と読み合わせ。事前確認・練習
15	イベント企画発表	具体的なイベントを企画し発表する (商品開発やまちづくりプランなど)	予：事前確認・練習